



府六だより

府中市立府中第六小学校

9月号

令和8年9月1日

(児童数 700名)

校長 小林 邦子

2 学期もみんなでつくる 安全で楽しい学校生活

校長 小林 邦子

長い夏休みが終わり、元気な子供たちが学校に戻ってきてくれて、とても嬉しいです。7月28日(火)には、震度7の熊本地震が発生し、8月には千葉県で豪雨による災害が発生しました。平成28年熊本地震から復興に取り組まれ再び災害に遭われた方々や、大切な家や車が水に浸かり、穏やかな日常が奪われた方々のお気持ちを考えると、胸が詰まります。それでも、「大切な仲間と一緒に一歩ずつ進むモン！」と被災された方々に元気を届けるくまモンの言葉のように、明日への希望をもち、助け合いながら今日を精一杯生きることが大切なのだと感じています。

さて、いつ起きてもおかしくない災害に備え、今年も8月22日(土)・23日(日)におやじの会が主催する第27回六小防災キャンプを実施しました。約150名の児童が参加し、府中消防署、府中市防災危機管理課、府中消防団第八分団、自衛隊など関係の皆様、府中第五中学校や大学生のボランティア、おやじの会やOB、PTA・地域の皆様のおかげで、大変充実した取組になりました。毎年、実践的な工夫を行っています。今年の特徴として、①豊かな防災体験、②東日本大震災の語り部体験、③みんなの心に火をともしたキャンプファイヤーが挙げられます。



津波の表示



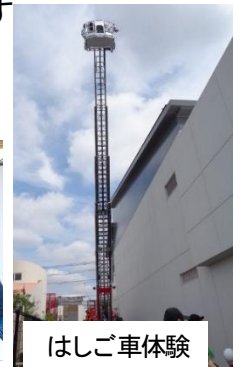
起震車体験



VR 車体験



緊急通話体験



はしご車体験



語り部体験



キャンプファイヤー



起震車やVR車では、学校や家で地震が起きた時の状況を映像と揺れでリアルに体験することができました。語り部体験では、2011年当時、幼稚園生であった安部さんのご経験をもとに、①震災から3日間の様子、②学校や家以外で災害に遭ったときの対応を考えること、③正しい防災知識を学び、心の準備と備えをすることなどを学びました。アリーナの壁に貼ってくださった青色の表示の津波の到達点は8メートルですが、石巻市鮎川では16.7メートルの津波が到達したと推定されています。出かけた先で被災することがあるかもしれません。津波の怖さとできるだけ高いところに直ちに避難する大切さを実感しました。

当日校庭で行う予定だったキャンプファイヤーは、雨と雷のため中止し、スズランテープと送風機で作った炎は赤々と燃え、本物の炎のようでした。関係者の協力と知恵で作った炎を囲み、友情とみんなの健康を願ったキャンプファイヤーは子供たちの心に残ることでしょう。段ボールハウスで就寝した午前2時、茨城県南部を震源に発生した地震では、校舎3階の防火扉が作動したものの、アリーナや教室で大きな揺れや混乱はなく、落ち着いて防災キャンプを続けることができました。

2学期は、道徳授業地区公開講座、学習発表会、6年日光移動教室、スポーツフェスタと大きな行事に取り組みながら、子供たちの心身の成長と学びの充実を図ります。まずは、夏季休業明けの子供たちの様子に気を配りながら、安全で楽しい学校生活を送れるよう努めてまいります。引き続き、ご支援をよろしくお願いします。